

幕末佐賀藩の人づくり と近代日本

平成30年7月14日(土) 13時30分～15時

講師：芳野 貴典(本館学芸員)

場所：佐賀城本丸歴史館 外御書院一之間・二之間

聴
講
無
料

アジアで最も早く近代化を成し遂げた日本。その近代化の原動力が何であったのかについては、これまで繰り返し議論がなされてきました。なかでも、教育水準の高さは最も重要なファクターとされ、幕末維新时期に西洋の最新の知識や技術を迅速に吸収する素地を当時の日本人が備えていたことは、今日の共通理解となっています。

幕末の佐賀藩では、第10代藩主鍋島直正のリーダーシップのもと、人材の養成・登用に力が注がれました。そして、そこから羽ばたいた多くの人材が近代国家制度の基礎づくりに携わっていたことは、佐賀藩の人づくりが単なるかけ声倒れに終わらず、きちんと実を結んだことを意味します。

今回の歴史館ゼミナールでは、幕末佐賀藩の人づくりの諸相を通じて、日本近代化の原動力の一端を探ることを試みます。